

江戸期の星空に思いはせ

松花堂親子天体観測会

天体望遠鏡で星空を観測する「松花堂親子天体観測会」が8月8、10日の2日間、松花堂庭園で開催され、年長〜中学3年生の親子連れ18組50人が参加しました。



簡易望遠鏡を作る親子(8月8日)

この観測会は、江戸時代の文化人・松花堂昭乗も見上げたであろう星空を親子で観測してもらい、子どもたちに豊かな人間性を育ててもらおうと、同庭園が主催。講師は、アマチュア天文家の大下邦弘さんが務めました。

はじめに子どもたちは、自作キットを使って簡易望遠鏡を製作。紙の筒を重ねあわせてレンズをはめ込み、家でも手軽に使える手作り望遠鏡を完成させました。

その後、大下さんが用意した5台の天体望遠鏡も使って星空を観測。木星や土星などの惑星、月のクレイター、さらには宇宙ステーションなども観測することができ、子どもも大人も一緒に楽しみました。

天体望遠鏡で星空を観測する親子(8月8日)

万一の備え 楽しく習得

子ども防災デイキャンプ

市内の小学生たちが体験を通して防災について学ぶ「子ども防災デイキャンプ」が7月28日、八幡小学校で開催され、4、5年生11人がさまざまな防災プログラムに取り組みました。

このキャンプは、いつ起きるかわからない災害に備えて、子どもたちにも防災知識を身に付けてもらおうと、市が主催しました。

子どもたちは、ペットボトルを使った簡易雨量計作りや、火のおこし方、ロープの

結び方など、さまざまな防災プログラムを体験。

マンホールトイレ組立訓練では、簡易便座を組み立てて設置用のマンホールの上に取り付け、テントで周りを覆って災害時用のトイレを完成させました。

また、消防署員に教わりながら、AEDや消火器の取り扱い、119番通報なども体験。子どもたちは楽しみながらも熱心に取り組み、防災の知識を習得していました。



マンホールトイレを設置する子どもたち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍や、身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

昆虫の魅力 親子で学ぶ

8月3日、「親子自然観察教室IN石清水八幡宮」が石清水八幡宮およびその周辺で開催され、小学1〜6年生の親子連れ8組22人が虫捕り体験などを通して、昆虫の魅力に迫りました。

この教室は、親子で地元・石清水八幡宮の自然を楽しみながら、昆虫について学んでもらおうと、文化センターが主催。講師は、近畿大学大学院農学研究科で昆虫について研究する、瀬口翔太さんが務めました。

親子自然観察教室 IN 石清水八幡宮

その後、虫捕り網を手に石清水八幡宮やその周辺を散策しながら、親子で虫捕り。参加者たちは、瀬口さんに教わりながら、樹液のついた木など、昆虫のいるような場所を探し、カナブンやカブトムシなどを見つけると優しく捕まえて虫かごに入れ、様子や特徴を興味深そうに観察していました。

木にとまる昆虫を捕まえる参加者



今月のこの人 空手全国3位 自分の芯



栗栖 真人さん

6歳から空手を始める。6月に開催された「第24回少年少女全日本空手道選手権大会オープントーナメント」で、高校2・3年生男子軽量級の部で3位に入賞。高校3年生。

空手の中でも、寸止めなどをせず、顔面以外の部位に直接打撃を加えるフルコンタクト空手を行う栗栖さん。

3位入賞を果たした第24回少年少女全日本空手道選手権大会オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦について「3位が決まった試合では、ラスト11秒でドクターストップがかかってしまいました。それがなければ、もっと良いところまでいけたかもしれないです」と悔しさを滲ませました。

受験を控える栗栖さんは、この大会をひ

とつの区切りとして、現在は空手を休み、英語や外国の文化を学ぶことができる大学を目指し、受験勉強に励んでいます。

「今後も空手を続けるかは未定ですが、これまで全力で取り組んできて、忍耐力が付き、自分の芯を持てるようになりました。これからは常に何かに一生懸命に向き合っていきたいです」と、空手で培った力を生かし、新たな未来に向かって踏み出していきます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、秘書広報課へお問合せください。